

古代散策

ジオハイキング

八郷の地形と歴史のつながり

日時	平成29年11月25日（土）8:30~13:30		
講師	野村眞一氏，市職員2名		
参加数	88名		
コース	八郷総合支所	⇒	丸山古墳
	⇒佐自塚古墳	⇒	佐久の大杉
	⇒八重天満神社	⇒	長堀2号墳
	⇒長堀6号墳	⇒	八郷総合支所

古代散策 ジオハイキング

11月25日(土)、晴天に恵まれる中、古代散策ジオハイキングが開催されました。今回は石岡市・桜川市・笠間市の3市合同での開催ということもあり、各市からたくさんの方にご応募いただきました。

午前9時、肌寒い中開会式が行われました。合計88名の参加者のみなさまには3グループ(A・B・C)に分かれていただき、それぞれのグループに講師を配置。講師に野村眞一氏(つくば環境フォーラム)と石岡市の文化振興課職員2名を迎え、いざ出発♪



八郷総合支所にて開会式。
石岡・桜川・笠間から定員を超える応募がありました。

コースは

八郷総合支所⇩丸山古墳⇩佐
自塚古墳⇩佐久の大杉⇩八重
天満神社⇩長堀2号墳⇩長堀
6号墳⇩八郷総合支所

となっており、八郷地区の中でも多くの古墳が残される『古代散策ロード』を歩きました。

県指定史跡

丸山古墳

全長60m、高さ7mの前方後円墳。4世紀後半ごろに築造された有力支配者の墳墓と考えられている。



佐志能神社⇩
石段の意匠は湯袋方面にみられる岩石が使用されている。(月乳母花コウ閃緑岩)しかし数段だけ加波山の石が使われているという。



👉 佐自塚古墳の説明を熱心に聴く参加者たち

市指定史跡 佐自塚古墳

全長60m、前方部の幅約27m、後円部径約30mの前方後円墳。墳型・立地・内部構造・副葬品から5世紀中頃に築造された古墳と推定され、丸山古墳の築造時期と近いことから被葬者は丸山古墳の被葬者と極めて関係が深い有力者と推定される。

古代において、山は稲作に必要な水資源の場所で、特に水資源が集まる自然環境の盆地は、稲作に重要な水利をコントロールしやすい場所だったそうです。

つまり、八郷盆地の豊かな環境が、権力者を生んだと考えられます。

八郷盆地に権力者が
生まれるまで！

縄文的狩猟の時代

(自然環境との共生)

👉 一万年ほど続いた平和な時代

ヤマト政権による稲作新技術が地方へ

※稲作の新技術

食生活の安定と生産の効率性

栽培・稲作の時代へ

(人間による自然改革へ)

食生活の安定を求め主従関係が誕生

地方と中央の関係が強固となる

稲作の新技術と農耕祭祀の移入

地域に貧富の差(リーダーの誕生)



👉 景観について説明を受ける参加者たち

県指定天然記念物 佐久の大スギ

伝承によると、大化改新（645）の頃に植えられ、鹿島神社が創建された室町時代の応永34年（1427）には「すでに千年近い杉」であったと語り継がれている。



八郷の歴史や景観・植生を堪能した後は朝日里山学校による豚汁の振る舞いが♪

HOKA-HOKA



おいしそう



ジオツアーでは、地域の特性から見える歴史や文化を、肌で体感しながら学ぶことができます。自分の地域の未来を考えるきっかけになるかもしれませんね。

たくさんのご参加ありがとうございました！

